

質疑内容（令和5年度第2回小国町中心市街地活性化協議会）

○中心市街地活性化計画（案）について

佐藤委員 この中心市街地活性化基本計画（案）を内閣府に提出するにあたり、私としては足りないと思う部分はない。この活性化基本計画の素案が認定となって初めて色々な事業の実施となると思うが、可能であれば、実際に認定になったあとの様々な事業のおおよその財政事情、例えば次期センターの事業費や国庫補助の予算措置を示したうえで、最終的に残った金額をおおよそどのくらいの期間で償還していくかという部分を教えていただきたい。また、中心市街地の活性化のためには、バランスよく中心地以外の周辺地域にも人口が定住していないと、10～20年をかけての目標数値を立てても活性化は厳しいだろうと考えている。10年後の人口目標を5000人程度とたてているが、上方修正していけるようにしていただきたい。さらに、舟山(康)委員のような、実際に町に定住してお子さんを育てて生活されている方々が輝けるような、ハードやソフト部分を計画いただきたい。

事務局 財政的な部分は重要な視点であり、どの程度国の支援をいただきながら進めていくかについては、毎年度の計画の整理の中で具体的に詰めていく必要がある。次期総合センターについても、84ページに記載の交付金を活用しながら進めていきたいと考えている。なお、この社会資本整備総合交付金の暮らし・にぎわい再生事業は、対象事業費の最大40%の交付金を受けられるものであり、公共施設を建てるためには最適なものと考えている。そのほかの事業も、中活ソフト事業は非常に使いやすいと言われており、総務省から指摘のあった部分についてはいったん落としているが、今後活用するとなれば、再度計画に搭載することも考えている。なお、全体の事業費について整理しているものはないため、毎年の整理の中で議論させていただきたい。また、周辺部とのバランスについて、公共交通等の暮らしの各般において、集落が地域づくり等を進められるというのは重要であると考えている。今回の中活計画は区域が決まっているため、周辺部における取り組みをこの計画に盛り込むことはできないが、集落や地域の活動を活性化するというのは大事な視点であり、中心市街地と同様に様々な計画や取り組みの中で活性化を進めて参るとともに、現在、地域おこし協力隊等の外部人材の活用にも取り組んでいることから、そちらもさらに進めることを検討したい。また、子育て世代の視点もちろん重要であり、ハード、ソフトともに子育て世代が利用できるものを考えていきたい。

今(与)委員 前回の素案と比べて、アスモの機能・役割の再整理という項目を載せていただき、我々の意見を汲んでいただいたものと考えている。パブリックコメントの中でも、関係団体との連携がうまくいくのかという意見があったよう

だが、この計画の策定が始まる前から、町産業振興課や商工会、協同組合といった関係者が集まって、アスモを今後どうしていくかの協議をずっと続けてきた流れがあり、その流れの中に本計画が入ってきたものと私の中では理解している。前回の協議会でも発言したが、アスモが平成9年にオープンした時には、紳士や婦人、書籍・文具等の専門店があったわけだが、今は空き店舗となっている。なくなったお店の大半は、倒産・廃業か、一部は路面のお店に戻って営業をしているという状況であるが、間違いなく言えるのは、人口規模によってできる商売が決まってくるというどうしようもない現実である。スーパーマーケットには6000人くらいの人口が必要となるが、6000人の人口を維持していくというのは大変なことである。買い物も重要な生活のインフラであり、人口と絡めて商業環境を官民あわせて支えていくために、本計画を有効活用していただきたい。

事務局 商業環境は人口規模もあり相当厳しい状況であるが、その中でどのような商業環境を整備できるかという視点が大事であると考えている。今回、空き店舗の利用や事業承継について、商工会と記載させていただいているが、当然町も関わる必要があると思っているので、具体の事業を積み上げていきたい。

○協議会からの意見書（案）について

木下委員（代理出席：柴田氏）

意見書（案）の（4）に「自動運転やライドシェア等の対策を検討する」との記載があるが、「自動運転」とはどういったものを指しているのか。

事務局 意見書（案）については、議論の叩き台として、最近、話題になっている施策も盛り込んだところであるが、自動運転については現在のところ実用化されているわけではないが、近隣では高島町で実験が進められているとのことから、今後の検討課題として整理したものであり、公共交通あるいはデマンドの充実のような文言でも足りるのではないかと考えている。一方、ライドシェアについては国においても検討が進められていることから、研究を進める必要があるものと考えている。

舟山議長 自動運転で病院やアスモ、役場といった中心市街地を回れるようになればと大変良いのではないかと私は思っており、掲載したままで良いのではないかと考える。

佐藤委員 意見書（案）の（1）の「人材育成」の後に、「育成した人材の定着」という文言も必ず入れていただきたい。また、意見書（案）の適当な項目に入れていただければと思うが、「定住人口の拡充」というのが重要であると考えており、付け加えていただきたい。

事務局 定着については定住とのかかわり大事な視点であるため、付け加えさせて
いただきたい。定住人口についてはなかなか増やすというのは難しい状況に
あるが、それに向けてどういう対応ができるかという視点で再整理させてい
いただきたい。